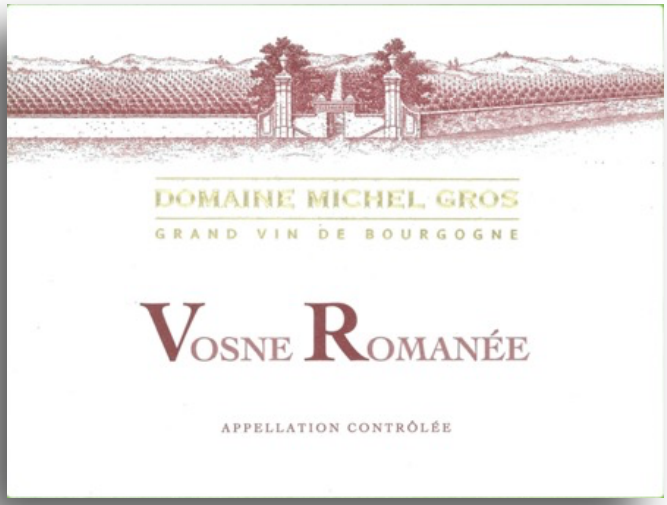
栽培面積 : 0,92ヘクタール
平均樹齢 : : 40年
年産: 4 500 本
ブドウ品種 : ピノ・ノワール

2020年のヴィンテージについて

２０２０年はブドウの成長サイクルが早く、強い日差しを受けた年です。収穫された少ない重量のブドウは、非常に凝縮していました。

２０１９年から２０年に移り変わる冬の雨量は標準的で、穏やかな気候のもと、軽い凍結に留まる日々が多く見られ、２月末には木々が芽吹きの準備を始める兆しが見られました。芽は３月末に早々に伸び始め、２０２０年のブドウは非常に早熟になるだろう事が予測されました。４月初旬に幾日かの冷気が訪れた後、気温は再び上昇し、ブドウの成長は暴走しました。４月後半から５月一杯まで一貫したリズムで伸び続け、平均すれば週に２枚ずつ新葉が増えるスピードで枝が伸びていきました。ドメーヌのチームはそのスピードに追いつくよう芽かきに精を出し、その後、新枝を持ち上げる相次ぐ作業も、成長リズムに合わせて遂行していきました。５月１８日頃にはコートでブドウの花が咲き始め、５月下旬にオート・コート・ド・ニュイで咲き終わりました。暑さと少ない雨のもとで新たに夏が始まり、７月中旬までこの好条件下でブドウは育っていきました。非常に早くにブドウは色づき始め、２０２０年の早熟度が記録的であることが観測されました。また、この天候条件はベト病とウドンコ病の脅威も妨げることになったので、ブドウ樹は健全な状態に保たれました。７月末から８月にかけて水不足の影響が表れ始め、コートの畑は徐々に黄色に傾いていきました。それでもブドウの成熟は阻まれることなく一貫したリズムで進んでいきましたが、水不足のせいでブドウの粒は思うように膨らみませんでした。



収穫は８月２８日にコートで始め、９月１０日にオート・コートで終えました。２０１８年、１９年同様、ブドウの健全さは疑う余地のないパーフェクトな状態で、ブドウの選別はほとんど必要ありませんでした。

パーフェクトな健全さ、完遂した成熟度、水不足に起因する果汁の少ないブドウから、２０２０年は偉大な凝縮度を誇るワインが生まれました。一方、フレッシュさや酸味の点では１９年より高いことが言えます。つまり、２０２０年のワインは１５年、１８年、１９年のヴィンテージの系統に属し、特徴としてはピュアで正確さがあり、極めて凝縮度が高く、美しいバランスに恵まれた完熟の年と言えます。

プレスリリース

FINE WINE
問題75– 2022
熟したイチゴの果実の香り、ジューシーな斑点は白胡椒で斑点があります。たっぷりと丸みを帯びたジューシー。完全で熟し、タンニンに軽くスナップし、食欲をそそる一口。前口蓋がいっぱいで、真ん中からかなり開いて風通しがよく、より繊細で正確に仕上げられます。

Allen Meadows' BURGHOUND.COM The ultimate Burgundy reference
85 号
もう一度、ブラックチェリー、ポーチドプラム、エキゾチックなお茶の香りの鼻の熟したスパイシーな香りを囲むのに気付くのに十分な木があります。濃縮された口のコーティングと強力なミドルウェイトに加えて、しっかりとした、わずかにブッチで素朴なフィナーレで終わるフレーバーには、細かい豊かさがあります。　　忍耐は絶対にお勧めします。
87～89